

3月例会『お終活 再春！人生ラブソディ』

会員だけでなく一般の方も有料で鑑賞できる特別例会(鑑賞会)は3月26日(水)、総会は4月26日(土)

梅の花も満開になり、少しずつ春らしくなってきました。みなさんお元気ですか。

昨年のお正月には能登半島地震。復興が進まない中、2月下旬には、岩手・大船渡での山林火災。家屋が焼け、多くの方が避難生活を余儀なくされています。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

1月例会「丘の上の本屋さん」いかがでしたか。よい本との出会い、本が人と人をつなぐこと、会話が少ない映像の中にほっこりするやさしい映画でした。例会時に、封筒や切手・えんぴつをたくさんいただきました。ありがとうございます。会員さんに支えられて今年24年目を迎える加古川シネマクラブ総会は、4月26日(土)16:00～に予定しています。場所は、北在家「かこがわ食堂・かこカフェ・かこバル(旧加古川珈琲)」です。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。3月例会「お終活 再春！人生ラブソディ」は、一般オープン(会員だけでなく一般の方も有料で鑑賞できるオープン形式の特別例会)です。たくさんの方に見ていただきたい楽しい作品です。お友達誘って参加くださいね。

例会のお知らせ

■名称／第134例会『お終活 再春！人生ラブソディ』

■日時／2025年3月26日(水) ①AM10:30～、
②PM1:30～、③PM4:20～、④PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。今回は、特別例会のため一般の方は有料で鑑賞することができます。

【例会作品データ】

■タイトル／『お終活 再春！人生ラブソディ』

■監督／香月秀之

■出演／水野勝、剛力彩芽、松下由樹、西村まさ彦、石橋蓮司、高畑淳子、橋爪功

■データ／2024年、日本、118分

■ジャンル／ヒューマンドラマ

■ストーリー／

大原真一(橋爪功)と千賀子(高畑淳子)は、来年には結婚50年を迎える熟年夫婦。定年退職して10年近く経つ真一は典型的亭主関白で、妻の千賀子とは事あるごとにすれ違い、夫婦喧嘩ばかりの日々を送っている。千賀子も頭の固い夫のことは相手にせず、趣味の健康コーラスでストレス発散の毎日だ。同居する独身の娘・亜矢(剛力彩芽)はどちらかという千賀子の味方。真一のイライラは募るばかりで、友人の麻雀仲間たちと、妻に対する愚痴を言い合っている。

そんな折、娘の亜矢は自分が営むキッチンカーの客で、葬儀社に転職したばかりの菅野(水野勝)と出会う。菅野から終活フェアに誘われた亜矢は母親の千賀子に行くことを勧める。そこで菅野の上司でもあり一級葬祭ディレクターでもある桃井(松下由樹)から最新の終活情報を得た千賀子は前向きに今後のことを考えようとするが、真一は縁起でもない嫌がり、新たな危機が生まれる。亜矢や桃井を巻き込んだ、大原夫婦の“お終活”の行く末は!?

(作品ホームページから)

定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2025年度の定例総会を開催します。1年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまに、出席くださるようお知らせいたします。

- 1 名称 2025年度加古川シネマクラブ定例総会
- 2 日時 4月26日(土)午後4時から
- 3 場所 かこがわ食堂・かこカフェ・かこバル(旧加古川珈琲) (栗津マックスバリュー前)
- 4 内容 (1) 2024年度事業報告に関すること



- (2) 2024 年度決算報告に関すること
- (3) 2025 年度役員を選任に関すること
- (4) 2025 年度事業計画に関すること
- (5) 2025 年度予算に関すること

- 5 議案 現在準備中です。事前に確認できるよう4月19日頃から26日まで加古川シネマクラブのホームページ上に掲載します。
- 6 参加方法 直接会場にお集まりください。
- 7 その他 当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することで、出席する会員に議決等を委任できます。

私の〇〇KAN「私のボランティア」

皆さんは加古川が綿の産地だったことを知っていますか？

江戸時代この地方で木綿は、米・塩と共に「播州三白」と呼ばれ、姫路藩の重要な特産品でした。天保12(1841)年、稲岡九兵衛が分家して木綿問屋となってから、明治24年(1891)にタオル会社を創業し、その後は日本一のタオル会社に成長しました。ところが中国産の安価なタオルに押され、平成24年(2012)に倒産となりました。その後、ゴミとみなされた膨大な文書が残されました。

私は、稲岡工業の跡地に入られた稲岡鉄工(株)(別会社)のご厚意で、毎月第1・3日曜に文書の整理と保存活動をしています。江戸期から明治期に渡る地元地域の歴史を示す文書・大福帳・戦前の女子補修家事書・観光案内書・写真・社員旅行のしおり等色々あります。私の興味を深く引くものですから、仕事の手がたびたび止まってしまうのです。又、毎年11月3日には「播磨の綿まつり」を開き、綿摘み・種取り・糸紡ぎの体験会と文書の閲覧会もしています。小学校(西神吉・鳩里)の3年生の総合学習で一年を通して綿栽培から機織りまで「わたの学習」も行っています。毎年発行する活動報告誌「わたの里通信誌」で活動を紹介します。

(「稲岡工業株式会社文書」保存会 北林)

前回の例会報告

1月23日(木)の1月例会では、イタリアの最も美しい村のひとつに数えられるチビテッラ・デル・トロントを舞台に、年齢や国籍の違いを超え、本を通して老人と少年が交流する姿を描いたハートウォーミングな作品『丘の上の本屋さん』を鑑賞しました。51名から感想が寄せられ、「本を読みたくなった。」、「穏やかに過ぎていく時間の中で幸せを感じた。」、「古本屋の店主と少年のように人と人の出会いが人生を幸せに導いてくれる。」など好評のご意見ばかり

でした。

会員93名が参加、新入会員4名、明石シネマクラブ会員12名でした。

明石シネマクラブ例会情報

■名称/第88回例会『枯れ葉』

(2020年、フィンランド・ドイツ、81分)

■監督/アキ・カウリスマキ

■出演者/アルマ・ポウスティ、ユッシ・バタネン、ヤンネ・フーティアイネン、ヌップ・コイブ、アンナ・カルヤライネン、カイサ・カルヤライネン

■ジャンル/恋愛・コメディドラマ

■ストーリー/北欧の街ヘルシンキ。アンサは理不尽な理由で仕事を失い、ホラッパは酒に溺れながらも、どうにか工事現場で働いている。ある夜、カラオケバーで出会った2人は、互いの名前も知らぬまま惹かれ合う。だが、不運な偶然と現実の過酷さが、彼らをささやかな幸福から遠ざける。果たして2人は、無事に再会を果たし、想いを通い合わせることができるのか。

■日時/4月16日(水)①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所/アスピア明石9階午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容/加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付/会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662(金沢まで)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemacub@nifty.com

http://kagogawacinemacub.c.ooco.jp/

※ファクシミリの番号が変わっています。

会員数 128 人(1月23日現在)

